

## 変革型リーダーシップ（生徒総会・全校集会開催）

5月30日（火）

多くの人は「ピンチはピンチ」と話されている方がいました。「チャンスに変えられるのはメンタルの強い人間」ということのようなのでした。その言葉を話されていたのが園田学園女子大学教授の荒木香織さんです。荒木さんがジョーンズHC に請われてメンタルコーチに就任したのは2012年、日本代表選手には「世界と互角に戦うなんて、どうせ無理」というネガティブな思考が色濃かったようです。荒木さんがまず行ったのが、リーダー格の選手を6人から8人ほど選び、そのメンバーのマインドセットを変えること、すなわち「リーダーズグループ」という方法でした。荒木さんの著書『リーダーシップを鍛える ラグビー日本代表「躍進」の原動力』（講談社）でも紹介されていますが、チームに変革をもたらすことができるよう、ほかの選手たちに働きかけられるリーダーシップを植え付けていきました。荒木さんは、「リーダーシップは素質ではなく、スキルなんです」と話されています。例えば、ラグビー日本代表の選手らが磨いた変革型リーダーシップには、心がけていけば磨ける「4つの要素」があります。

- ① リーダーが倫理、道徳にのっとった言動を遂行することで生まれる「理想的な影響力」
- ② フォロワーに対し、任務の大義を明確にして、有能感を引き出し、内発的動機付けを目指す「モチベーションの鼓舞」
- ③ 自身や組織の「当たり前」を変えることで変革をもたらす「思考力への刺激」
- ④ 各々に興味を示し、能力やニーズを理解しながらコミュニケーションを図る「個人への配慮」参考にして欲しいと思います。

（引用：荒木香織「リーダーシップを鍛える ラグビー日本代表「躍進」の原動力（講談社）」）

先週の5月23日（火）に生徒総会を実施しました。生徒総会は生徒会や各委員会さらには各クラスの1年間の活動方針や目標を決める大切な会で、生徒たちが自分たちで自分たちの学校を創っていく自治活動の柱となるものです。2023年度のスローガンは「みんなが**楽**しめる自ら進んで**挨**拶をする目標に向かって**努**力し続ける一人ひとりが**輝**ける」内容は昨年度の会計報告や本年度の予算案そして本年度の活動計画など地域や社会で行われている活動と同じ形態で子どもたちは生徒会活動を通して社会での疑似体験をすることになります。こういった活動を通して子どもたちは自立に向けての力を養っていくことになるものだと考えています。今後もそういった子どもたちの主体的な活動を支援していきたいと考えます。また本日は全校集会を玄関ホールにて開催しました。全校集会では各委員会の6月の活動等が報告されました。

